

製造分野ヒアリング資料（経済産業省）

1 施策名	戦略的基盤技術高度化支援事業				
2 概要	我が国重要産業の競争力を支える基盤技術の高度化に向けて、革新的かつハイリスクな研究開発や、生産プロセスイノベーション等を実現する研究開発に取り組む中小企業を支援する。				
3 予算額	分類	FY18 要求	FY17	FY16	FY15
【百万円】	科振費				
	一般会計	9,200			
	特別会計				
	合計				
	決算額				
4 必要性	<p>本事業において実施される研究開発は、我が国重要産業の競争力の維持・強化に直接的に作用する外部経済効果の高いもの。</p> <p>反面、求められる技術の高度性・専門性ゆえに、研究開発の不確実性・リスクが増大し、市場原理に委ねておくと、経営資源の脆弱な中小企業において必要な取組が進まず、その結果、我が国重要産業の競争力に重大な影響を及ぼすことが予想されることから、国関与の必要性は高い。</p>				
5 計画性 (実績及び17年度の実施内容)	【新規】				
(18年度の実施内容)	【新規】 ・中小企業が担う基盤技術ごとに、マーケットで3～5年先に実現が期待される技術の高度化に向けた研究開発テーマを提案公募し、実施。				
(推進体制)	経済産業省（製造産業局、中小企業庁） 経済産業局				
(全体計画)	始期	18	終期	23	総事業費 552億円（国費：全額）
6 有効性 (研究開発目標)	<p>「研究開発の不確実性・リスク」の増大、経営資源の脆弱性などにより、我が国重要産業の競争力の維持・強化に不可欠な基盤技術の高度化に向けた研究開発が阻害されている現状に鑑みて、中小企業が行う革新的かつハイリスクな研究開発を支援する本事業は、有効な事業である。</p> <p>（研究開発目標）</p> <p>中小企業の基盤技術の高度化に向けた研究開発の実施を通じて、中小企業の競争力を強化し、もって、我が国重要産業の国際競争力の持続的な維持・強化を図る。</p>				
(個別政策目標)	材料から製品・サービスまでの産業集積の強みを活かすものづくりの進化				

(両目標の関係)	<p>我が国産業の競争力を支える重要な要因の一つは、我が国に高度な基盤技術を持つ川上産業（部品、材料、加工サービス等を供給する産業）が高い密度で存在することであり、こうした集積が我が国「ものづくり」の強みの源泉となっている。</p> <p>こうした基盤技術を担う中小企業における技術の高度化に向けた研究開発を促進することは、我が国経済を牽引する重要産業の競争力の持続的な維持・強化を図る上で不可欠である。</p>
7 効率性	<p>本事業によって実施される研究開発の成果は、我が国重要産業の競争力の維持・強化に直接的に結びつく外部経済性の高いものであり、事業実施者のみならず我が国重要産業に裨益するものであることから、投入されるコストと比較して、非常に大きな便益が期待できる。</p>
8 評価等の実施・反映状況	<p>（各府省における評価の実施・反映状況） 中間評価実施時期：平成 19 年度 事後評価実施時期：平成 24 年度</p> <p>（総合科学技術会議の指摘事項の反映状況） 【新規】</p>
9 類型	
10 担当	<p>中小企業庁経営支援部技術課 氏名 好岡 浩二 TEL:03 - 3501 - 1816 E-mail:yoshioka-koji@meti.go.jp</p>